

表彰式

Commemoration ceremony

研究協力が発足して3年、会員と富山県立大学の共同研究や卒業論文のテーマ募集などの成果の中から、産学連携への積極的な取り組みが表彰されました。

共同研究部門

配管種類別必要量の自動算出研究

■研究担当者
富山県立大学
一工学部 情報システム工学科一
教授 安井 直彦
准教授 松田 弘成
助教 中田 崇行

デザイン設備株式会社
代表取締役社長 本田 正昭
技術部長 花木 潔

株式会社設備企画
技術担当 吉田 剛

■研究概要
本研究は、利用度の大きいJw-CADの設計図から、配管の種類別使用量を自動算出するシステム研究である。誰でもが容易に誤りなく見積作業などを可能とする省力化の研究開発である。

α-リポ酸の食品としての機能に関する研究

■研究担当者
富山県立大学
一工学部 生物工学科一
教授 榑 利之
准教授 生城 真一
助教 鎌倉 昌樹

立山化成株式会社
代表取締役社長 片口 真
常務取締役 上山 勉
取締役品質管理室長 佐野 孝一

■研究概要
α-リポ酸の健康維持増進に繋がるメカニズムについては十分に解明されていない。本研究ではDNAマイクロアレイによる遺伝子発現の網羅的解析など、最新の技術を用い、α-リポ酸が酸化ストレス応答遺伝子の発現を誘導することを見出し、強力な抗酸化作用メカニズムを遺伝子レベルで明らかにした研究である。

卒業論文部門

面逐次法による平面度測定システムの開発

■研究担当者
富山県立大学
一工学部 知能デザイン工学科一
教授 野村 俊
准教授 神谷 和秀
卒業生 野原 千裕
(※卒業論文作成者)

富山検査株式会社
代表取締役会長 高見 貞徳
技術顧問 谷口 和夫
技術開発部 中野 幸誠

■研究概要
平面度の簡易測定を目的に、3本の測定子で支えられた2軸傾斜計の傾斜データを効率よく処理する「面逐次法」を開発し、その結果、専門的な技術が必要とせずに測定を行うことが可能になり、また、測定精度を犠牲にすることなく、測定時間を大幅に短縮することが可能となった。

記念講演会

A commemorative lecture

『人間ロボットの進化』

東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授 稲葉 雅幸氏

■講演概要
ロボットは、身体をもって実世界を動く計算機と言われます。その身体は最初は腕や足など、人間の身体の一部だけのものですが、今では、2本足、2本の腕を持ち、背骨までも持つような人間型のものも実現出来るようになってきました。
本講演では、経済産業省人間協調共存型プロジェクトにおいて川田工業が製作した人間型ロボットHRP2の実演を交えながら、東京大学において小型から等身大、全身筋骨格のものへ発展した人間型ロボットの研究を紹介しました。



1977年 富山県立高岡高等学校卒業
1981年 東京大学工学部 機械工学科卒業
2000年 東京大学 教授
2005年より 東京大学大学院情報理工学系研究科創造情報学専攻所属 知能ロボットシステムの発展的構成法の研究教育に従事

～稲葉先生にお聞きしました～
◆故郷への思い◆
富山県は、私にとって心身共に休める別荘のような存在です。私は砺波平野の散居村にある回舎町が地元ですが仕事から離れ、兄弟や親戚が集まり、楽しいひと時を過ごすために年に1-2度帰省します。
◆産学連携と地域イノベーション◆
産学連携は、地域イノベーションにとって重要です。研究した技術を更に進化させるには、大学だけでは難しい所があります。産業界で技術を使って製品化し、それを大学が使って更に進化させる。この繰り返しは、地域イノベーションに繋がると 생각합니다。

3周年記念事業ライブラリー

The third anniversary memory business library

13:00



事例発表会



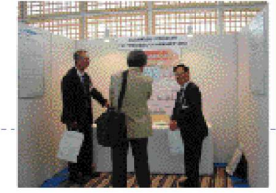
田中実行委員長、挨拶

14:00

事例発表会



表彰を受けた研究の成果を発表



研究紹介コーナー

15:00

記念講演会



講演ではロボットの実演も…



研究協会からの奨励金を受けた研究や県立大学での研究を発表

16:00

17:00

記念式典



【来賓挨拶】石井富山県知事



【来賓挨拶】森富山県市長



18:00



中尾会長より表彰



【研究協会へお礼の言葉】田中県立大学 学長



交流を深める参加者

交流会

19:00



富山県立大学研究協会の発足3周年おめでとうございます。国際会議場で盛大に開催された記念事業におきましては、県立大学教員の研究内容を紹介するコーナーも設置頂き、心から感謝申し上げます。地域連携センターといたしましても、積極的に大学シーズを公開し、会員企業の皆様のニーズとのマッチングを行い、地域貢献を推進していきたいと考えております。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。 地域連携センター センター長 岡田 敏美